

地域連携・キャリア開発センター Newsletter

オープンキャンパスを開催しました

対面式を中心に実施したオープンキャンパスについて

8月9日、10日にオープンキャンパスを開催し、県内外の高校生845名と保護者740名にご参加いただきました。本年度は制限を設けずに自由に大学内を見学していただき、賑やかで楽しい2日間になりました。

当日は学部説明会、個別相談会、在学生と交流会、施設見学、模擬授業、模擬演習体験を行いました。多くの参加者が、学生や教員から学習内容や体験談を聞き、大学生活の雰囲気を感じ取り、イメージを深めてくださっていました。また、文字集めをしながらの見学は、楽しく学校を回れたと好評でした。文字集めをクリアされた方には本学とぐんまちゃんの限定コラボレーション缶バッジが配られました。

参加者からは、「先輩たちの話を聞いたことで大学への理解が深まった」「体験談を交えた学部説明会と演習で、大学の雰囲気を感じ看護の仕事の魅力を体感できた」「超音波や放射線の見学、体験が楽しかった」などの感想をいただき、盛況のうちに終わることができました。



ボランティア活動報告

【桃の木リバーを愛する会による花の苗の植え付け】 開催：6月21日(金)



学生と教職員8名が参加、管理員さんも応援参加

桃の木リバーを愛する会（放射3年 藤田 春花 会長）の皆さんが、毎年恒例の花の苗植えを行いました。赤や白の可憐な花が、河辺を通る人たちの目を楽しませています。同会は平成21年から桃の木川沿いの環境美化活動に取り組み、地域の皆さんと交流しています。

【第50回 ホリデーインまえばし】 開催：8月25日(日) 会場：前橋敷島公園

今年で第50回の節目を迎えたホリデーインまえばしに、ボランティアサークル（看護2年 猪野愛莉会長）から10名が参加し、オリジナル缶バッジコーナーを出展しました。幼児から小学生を中心に621名の親子がテントを訪れて自由にお絵かきを楽しみ、素敵な缶バッジが仕上がりました。閉会式では、ホリデーマーチに合わせて大人も子どももみんなで踊り、楽しい夏の日を笑顔で締めくくりました。



ボランティアサークルのみなさん



教職員親子も参加

【前橋市下沖町納涼祭】

開催：8月3日(土)

会場：前橋市下沖町公民館



血圧測定コーナーでは地元の皆さまと交流ができました

日頃実習等でお世話になっている下沖町の納涼祭に看護学部4年生5名と教員2名が、血圧測定コーナーの出展や合唱、ビンゴ大会などに参加させていただきました。地元住民の皆さまに温かくお迎えいただき、親睦を深めることができました。

学生からは、たくさんの方が測定に参加して下さり嬉しかった、とても楽しく貴重な体験となった、との感想がありました。



右写真：ステージでは『ルージュの伝言』を合唱

報告

【教員の受賞】

日本生体医工学会優秀賞および特別賞の受賞について

診療放射線学部の佐藤充助教が、第63回日本生体医工学会大会のYoung Investigator's Awardセッションにて、「優秀賞」および「特別賞」を受賞しました。



日本診療放射線技師会功労賞の受賞について

診療放射線学部の五十嵐博准教授が、(一社)群馬県診療放射線技師会第84回定時総会において、「日本診療放射線技師会 功労賞」を受賞しました。



日本看護研究学会奨励賞の受賞について

看護学部の橋本晴美准教授が、日本看護研究学会第50回学術集会において、「2023年度 奨励賞」を受賞しました。

受賞論文：がん患者の呼吸困難感に影響する要因、橋本晴美 ほか、日本看護研究学会雑誌46(2), 2023.



活動報告

【第1回 公開講座を実施しました】

テーマ：これから始める生成AI－上手な生成AIとの付き合い方－

講師：診療放射線学部 佐藤 充



令和6年8月24日に、生成AIの原理や使い方についての第1回公開講座を実施しました。

74名の参加者からの意見には、「ChatGPTについて知りたかったので非常に勉強になった」「楽しくAIについて理解を深める事ができた」「生成AIの注意点を踏まえて、活用していきたいと思った」などがありました。

※ 地域連携・キャリア開発センターでは、事業の一環として、公開講座の開催を計画しています。お楽しみに!!

【出前講座を実施しています】

教員がそれぞれの専門知識を生かしつつ、県民の皆様にわかりやすい説明や体験となるような講座を準備しています。令和6年度の講座メニューは33テーマで講師の派遣は無料です。ぜひ、ご活用ください。

右写真：【健康寿命延伸プログラム】元気にいきいき生活するために！の1コマ

